

(11)

(月ぎめ購読料1,800円うち消費税133円)・一部売り(税込み)80円 <第3種郵便物認可>

体操の魅力伝える

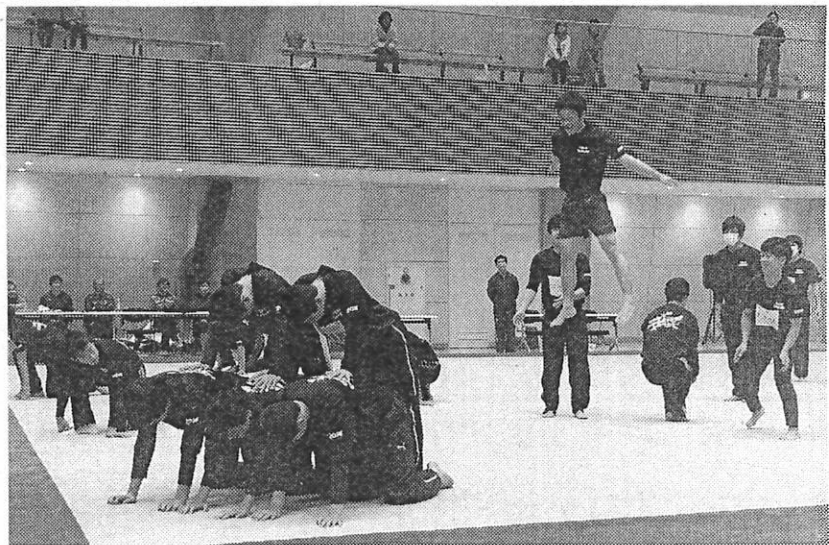
田辺で 交流会 160人が演技披露

田辺ジュニア体操クラブは5日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパークで演技交流会を開いた。幼児、小学生、高校生、大人の約160人が、鉄棒やゆかなどの演技を披露し、観客に体操の魅力を伝えた。

田辺体操教室や明洋中学校体操部、田辺工業高校体操部が協力。体操の良さを広めようと、昨年から一般の観覧を呼び掛けて開催している。こ

の日は保護者ら約400人が来場した。

模範演技では、中高生と田辺ジュニア体操クラブコーチの計35人が出演。田辺工業高を卒業し、4月から日本大学に進学して体操を続ける筒井宏樹君(18)がゆかの演技を披露した。田辺ジュニア体操クラブコーチで、21歳以下の体操日本代表に選ばれた実績を持つ柴田快輝さん(24)は田辺市は鉄棒で難易度の高



集団演技を披露する高校生(5日、田辺市上の山1丁目で)

い技を見せた。田辺工業高体操部は、集団演技をして会場を盛り上げた。

和歌山市から串本町までの幼児と小学生の約120人はゆかや跳び箱で、普段の練習の成果を発表。倒立の記録会

もあった。

演技交流会の実行委員長、川間大志さん(32)は「これから交流会を続け、体操の素晴らしさや必要性を普及させていきたい」と話した。